

教育部（2）

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	25 日			
事務事業名	コミュニティースクール推進事業				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	羽石 康弘							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	1 豊かな心を育む学校教育の充実を図る									
	基本事業名	4 教育環境の整備と運営体制の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	01	目	03	事業名	コミュニティースクール推進事業	根拠法令	地方教育行政法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成27 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 学校運営協議会は、教育委員会が学校や地域の実情に応じて設置し、地域の人々が学校と連携・協働して、保護者及び地域住民等の学校運営への参画または支援・協力の促進及び連携強化を図ることで、児童生徒の成長を支え、地域創生や教育課程を介して地域社会とつながる学校を目指します。						【業務内容】 白鳥学園において、学校運営協議会を設置し、学校、保護者、地域住民の参画を得て、社会総がかりで質の高い学校教育を実現するための環境整備を図る。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
瓜連小学校児童、瓜連中学校生徒、同保護者及び瓜連地区住民	瓜連地区人口	人	8016.	7875.	7802.	7802.	7802.	
	瓜連小中学校児童生徒	人	518.	517.	502.	502.	502.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
白鳥学園(瓜連小・中学校)において、学校運営協議会を設置し、学校、保護者、地域住民の参画を得て、社会総がかりで質の高い学校教育を実現するための環境整備を図る。	委員(小・中合計)	人	19.	19.	19.	19.	19.	
	協議会開催回数	回	4.	4.	4.	4.	4.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
・保護者、地域の思いや願いを生かした学校づくり ・郷土を愛し、将来の地域振興に貢献できる子どもの育成	関連行事数	事業	9.	9.	9.	9.	9.	
	家族や地域の人々の支えに感謝をした児童・生徒の割合	%	94.	94.	94.	94.	94.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	107	101	207	207	207	0
	事業費計(A)	千円	107	101	207	207	207	0
人件費計(B)	千円	4,397	0.67人	4,629	0.68人	4,629	0.68人	
投入量(A)+(B)	千円	4,504		4,730		4,836		4,836
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	地域住民等の意見を効果的、効率的に反映させる学校づくりを行うため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	保護者、地域住民等も子どもたちの教育の当事者となり責任感をもって積極的に子どもへの教育に携わることができるようになった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者・地域住民等・学校が顔が見える関係となり、学校運営が理解と協力を得たものとなっているという意見が寄せられている。							

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	18 日			
点検日				事業類型	活動支援						
事務事業名	家庭教育学級開設事業			事業類型	活動支援						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ	記入者氏名	羽石 康弘						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり							
	施策名			2 未来を担う青少年の健全育成を図る							
	基本事業名			3 地域や家庭の教育力の向上							
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	社会教育法・教育基本法				
		09	05	01	家庭教育学級開設事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 家庭は、子どもの人格形成に関わるもっとも基本的な教育機能をもつ。そのため、保護者は、子どもの教育に対する責任を自覚し、家庭教育に関する正しい知識と理解を持つことが必要である。保護者自らが家庭のあり方、親としてのあり方について学習し、家庭の教育力の向上を図る。市立保育所、幼稚園、小中学校及び保護者を対象に、16学級を開設し、年間5～7回程度の学習(学級毎)と、合同学習会を年3回開催する。					【業務内容】 ・学級開設の指導・合同学習会の企画、開催・運営補助金の交付に伴う事務						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市立保育所、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者			・市立保育所、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者			人	4442.	4355.	4232.	4232.	4232.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・担当者及び学級長説明会 ・学校、幼稚園ごとに学級を設置 ・合同学習会の開催			説明会の開催回数			回	1.	1.	1.	1.	1.
			開設した学級数			学級	20.	16.	16.	16.	16.
			市合同学習会の開催回数			回	3.	3.	3.	3.	3.
			学園合同学習会の開催回数			回	5.	5.	5.	5.	5.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
家庭での子どもへの教育及び親の在り方について学習することにより、親としての自覚をもち、家庭教育に関する正しい知識を習得してもらい、家庭の教育力の向上につなげる。			学級講座に参加した保護者の延べ人数			人	2915.	2667.	2500.	2500.	2500.
			講座の開催回数			回	146.	128.	130.	130.	130.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移											
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,557	1,271	1,458	1,458	1,458	1,458	1,458	0	
	事業費計(A)	千円	1,557	1,271	1,458	1,458	1,458	1,458	1,458	0	
人件費計(B)	千円	3,970	0.60人	3,674	0.53人	3,674	0.53人	3,674	0.53人		
投入量(A)+(B)	千円	5,527		4,945		5,132		5,132		5,132	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		核家族化が広まり、親の子育てに対する不安をなくす必要が出てきた。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		教育基本法改正により「家庭教育」が新設され、親が家庭教育学級で学んだ知識や考え方を家庭でも実施し、子どもの親に対する見方、考え方、親と子どもの接し方など、家庭教育の在り方について改善される方向にある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		学級生(特に企画担当者)から、事業計画を立てて実施することは大変だが、実施して振り返ると大変有意義であり、よい経験になったとの声を聞く。また、この経験を周りに伝えて生かしていきたいという意見も出た。									

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	21 日
事務事業名	成人式開催事業				事業類型	式典の開催		
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	須藤 かなみ				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	2 健全育成の推進						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 01	事業名 成人式開催事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 当該年の成人者及び市関係者が一堂に会し、成人式典を開催し、成人者の門出を祝う。					【業務内容】 当該年及び次年の成人者代表により実行委員会を組織して計画の立案や成人式の運営を行う。市は、実行委員会をサポートしながら、式典において門出を祝う。			
【会場】 ・平成22年度まで センチュリー那珂 ・平成23年度まで 那珂市中央公民館 以降 那珂総合公園								

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
その年度に二十歳になる新成人	成人者数	人	517.	565.	565.	565.	565.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・実行委員の募集 ・実行委員会の開催 ・式典の開催	実行委員募集通知の発送 件数(次年度成人者も募集)	通	984.	1084.	1084.	1084.	1084.		
	実行委員会の開催数	回	8.	8.	8.	8.	8.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
新成人に社会人として自覚を持ってもらい、市民としてまちづくりに参加する意識を高める。	成人式に参加した割合	%	76.4	79.2	80.	80.	80.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2) 投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,109	2,070	2,507	2,507	2,507	0	
	事業費計(A)	千円	2,109	2,070	2,507	2,507	2,507	0	
人件費計(B)	千円	2,510	0.63人	3,853	0.82人	3,853	0.82人	3,853	0.82人
投入量(A)+(B)	千円	4,619	5,923	6,360	6,360	6,360	6,360		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	国民的な行事であり、成人者の健やかな心身の成長と社会人としての門出を祝福するため実施することとなった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	人口減少が進む中、進学や就職等で市外へ転出する若者が多くなっている。また、今後民法改正による成人年齢引き下げにより成年年齢は令和4年から18歳となるが、この事業については20歳の者を対象に実施予定。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	市の財政状況を憂慮し財源を使うことは一部の市民から反対意見がある一方、行政の成人式開催は当然という意見もある。また、今後成人年齢引き下げに伴う式典のあり方について慎重に精査を求める意見等がある。								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	18 日
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	活動支援	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	須藤 かなみ				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	1 地域で育てる体制の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令		
		09	05	01	各種団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 社会教育の振興を図るため、各団体の自発的な活動を推進し、活動費を助成する。					【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民、社会教育団体(※補助団体数についてR1幼稚園PTA連絡協議会については、市内幼稚園の統一により廃止)	市の人口	人	55131.	54772.	54523.	54523.	54523.
	補助団体数	団体	3.	2.	2.	2.	2.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
補助金交付申請の受理、補助金の交付	申請書受理件数	件	3.	2.	2.	2.	2.
	補助金交付額(市文化協会)	千円	3865.	3865.	3865.	3865.	3865.
	補助金交付額(市PTA連絡協議会)	千円	610.	610.	610.	610.	610.
	補助金交付額(市幼P連R1から廃止)	千円	40.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進 単位PTA相互の連絡、協力によりPTA活動を充実させ、市教育の振興発展に寄与する	文化協会加入数	人	710.	659.	659.	659.	659.
	文化振興事業・講座・文化祭への参加者数	人	4060.	3913.	3913.	3913.	3913.
	市PTA連絡協議会事業数	事業	4.	5.	5.	5.	5.
	市幼稚園PTA連絡協議会事業数(R1から廃止)	事業	2.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,515	4,475	4,475	4,475	4,475
	事業費計(A)	千円	4,515	4,475	4,475	4,475	4,475
	人件費計(B)	千円	1,853	1,015	1,015	1,015	1,015
		0.44人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	
	投入量(A)+(B)	千円	6,368	5,490	5,490	5,490	5,490
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> 文化に対する認識と創造性の啓発により文化の振興を図るため。 各単位PTAの連携や調整など、自発的な活動への推進が必要となったため。 						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会全体で高齢化が進んでいる。高齢化による会員減少を理由に、文化協会を脱退する団体もある。 市内の幼稚園が統合されたため、令和元年度から市幼稚園PTA連絡協議会については廃止となる。 						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	文化協会については、会費が高い、法人化へ移行を促すなどの意見がある。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート				作成日	令和2 年	5 月	28 日			
事務事業名	青少年相談員設置事業				事業類型	団体運営						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	木内 修平						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業					
	施策名		2 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名		1 地域で育てる体制の充実									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市青少年相談員設置規則					
		09	05	03	青少年相談員設置事業							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 1 青少年の実態を把握し、青少年の問題等に関わる相談に応じ、その解決に努める。 2 青少年相談員としての自己研鑽に努める。 3 青少年にとって健全な環境づくりのため、地域環境の点検活動を推進する。 4 関係各機関・諸団体との連携を図りながら、青少年のよき理解者となるよう努める。 1 現状把握の部(DOシート)					【業務内容】 年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年相談員としての資質の向上に努める。							
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象 (誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標 (対象の大きさを表す指標)										
那珂市青少年相談員		那珂市青少年相談員定数	人以内	50.	50.	50.	50.	50.	0.	0.	0.	
②手段 (具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)										
青少年健全育成に向けた街頭活動や情報交換、並びに、研修会への参加を通して、青少年の健全育成の推進と自己研鑽に努める。		那珂市青少年相談員数	人	47.	47.	47.	47.	47.				
		青少年健全育成パトロール活動実施回数(平均)	回	15.	13.2	14.	14.	14.				
		研修実施回数(中・高生と語る会を含む)	回	4.	8.	8.	8.	8.				
				0.	0.	0.	0.	0.				
③意図する成果 (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標 (対象における意図された対象の程度)										
青少年相談員活動及び研修を通して、相談員の資質向上と青少年を育成するための環境の向上を図る。		青少年育成活動に参加している相談員延べ人数	人	1200.	1199.	1200.	1200.	1200.				
		青少年健全育成協力店舗登録率	%	89.6	89.6	89.	89.	89.				
				0.	0.	0.	0.	0.				
				0.	0.	0.	0.	0.				
(2) 投入量の推移						単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	4,681	4,605	5,004	5,004	5,004	5,004	5,004	0	0	
	事業費計(A)	千円	4,681	4,605	5,004	5,004	5,004	5,004	5,004	0	0	
人件費計(B)	千円	2,651	0.69人	4,627	0.71人	4,627	0.71人	4,627	0.71人	4,627	0.71人	
投入量(A)+(B)	千円	7,332		9,232		9,631		9,631		9,631		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		青少年の健全育成は地域ぐるみで進めようという趣旨のもと、昭和40年8月に11人の青少年相談員が委嘱され、青少年のよき相談相手として、青少年の健全育成活動が始まった。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?		少子高齢化・都市化により地域コミュニケーションが希薄化している。地域で子どもを守る活動が活発化するなど子どもの安全に関心が深まる一方で、携帯電話等による有害情報の蔓延や人との交流を避ける傾向がある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		青少年相談員からは、青少年を温かく見守り育てるためには、各地区まちづくり委員会を始めとする地域の方々との協力体制づくりの強化が必要であるという意見が寄せられている。										

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	24 日
事務事業名	青少年育成事業				事業類型	活動支援	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	戸澤 英理香				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	2 健全育成の推進						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 03	事業名 青少年育成事業	根拠法令	社会教育法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 那珂市子ども会育成連合会等の育成支援。青少年育成関係団体事業の推進及び主催事業(青少年の主張大会等)への助成と支援。					【業務内容】 年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年健全育成活動の充実を図るとともに、団体の事務局として青少年の育成と啓発に努める。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内在住の青少年	市内の青少年数(0～19歳)	人	9308.	9149.	8958.	8958.	8958.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
子ども会事業における表彰、講習会、研修会等の実施。大会や表彰式典の開催による青少年育成事業の推進。	開催事業数(那珂市子ども会育成連合会)	回	4.	4.	4.	4.	4.
	開催事業数(青少年育成那珂市民会議)	回	3.	3.	3.	3.	3.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて、 ・会員相互の連携による青少年健全育成を推進すること。 ・親や市民の青少年健全育成に対する理解と関心を高めること。	子ども会加入人数(青少年)	人	1380.	1211.	1000.	1000.	1000.
	青少年那珂市民会議3大会参加者数	人	526.	531.	500.	500.	500.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	645	641	707	707	707
	事業費計(A)	千円	645	641	707	707	707
人件費計(B)	千円	3,002	0.70人	3,787	0.85人	3,787	0.85人
投入量(A)+(B)	千円	3,647	4,428	4,494	4,494	4,494	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	少子化、核家族化といった社会環境の変化に伴い、子ども会活動が縮小していることを受け、市の支援により団体の事務的な負担軽減を図り、団体活動の継続や活性化を図る必要があった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	子ども会の加入率は減少傾向にあるが、単位子ども会の再編により、子ども会存続および加入促進を目指す動きがある。市民会議事業は、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者からは、子ども会事業に参加し、よい経験をした等の意見が寄せられている。また、役員の負担軽減のため、今の時代に合った青少年育成支援のあり方を検討すべきとの意見がある。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	20 日
事務事業名	ふるさと教室開設事業				事業類型	各種教室の開催		
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	戸澤 英理香				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	2 健全育成の推進						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令		
		09	05	03	ふるさと教室開設事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 市内小学生を対象に、異年齢・異学校の子供たちが家庭では味わえない体験を通して、交流や仲間作りを行い社会性を養う。					【業務内容】 様々な体験メニューによる教室を編成し運営する。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
ふるさと教室 対象:小学校5、6年生(令和元年度より)	ふるさと教室 小学校5、6年生(令和元年度より)	人	1390.	898.	891.	891.	891.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
創作活動や野外活動を取り入れた体験活動教室の開設	ふるさと教室 開催した教室の延べ回数(市内)	回	8.	5.	5.	5.	5.		
	ふるさと教室 開催した教室の延べ回数(市外)	回	6.	5.	5.	5.	5.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
多くの体験を通して、郷土の歴史や自然について学ぶことにより、ふるさとを愛する心を育てる。また、学校や学年の違う友達との交流を通して社会性を養うことで、活力ある青少年を育てる。	教室に参加した延べ人数	人	483.	317.	317.	317.	317.		
	教室に参加した実人数	人	115.	71.	71.	71.	71.		
	教室に楽しく参加できた人数	人	71.	55.	55.	55.	55.		
	友達と協力して参加できた人数	人	57.	50.	50.	50.	50.		
(2) 投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	28	28	28	0	
	一般財源	千円	647	618	856	856	856	0	
	事業費計(A)	千円	647	618	884	884	884	0	
人件費計(B)	千円	2,289	0.49人	2,495	0.58人	2,495	0.58人	2,495	0.58人
投入量(A)+(B)	千円	2,936	2,936	3,113	3,113	3,379	3,379	3,379	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	子どもたちが日ごろできない体験学習の場を提供することにより、社会性に富んだ活力ある健全な青少年の育成が必要となったため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	交友関係の軽薄化や、生活や社会における実体験の不足により、人間力の減衰や社会性の不足が危惧され始めている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	実施しているプログラム内容について、新たな体験メニューを求める声がある。								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	24日			
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	活動支援	点検日				
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	戸澤 英理香							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	03	事業名	各種団体補助事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 那珂市補助金等交付規則に基づき、青少年育成那珂市民会議および那珂市子ども会育成連合会に補助金を交付する。						【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」	補助団体数	団体	2	2	2	2	2
			0	0	0	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付	補助金交付額(青少年育成那珂市民会議)	千円	820	820	820	820	820
	補助金交付額(那珂市子ども会育成連合会)	千円	250	300	300	300	300
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて、 ・会員相互の連携による青少年健全育成を推進すること。 ・親や市民の青少年健全育成に対する理解と関心を高めること。	開催事業数(那珂市子ども会育成連合会)	回	4	4	4	4	4
	子ども会加入者数(青少年)	人	1380	1211	1000	1000	1000
	開催事業数(青少年育成那珂市民会議)	回	3	3	3	3	3
	3大大会参加者数(青少年育成那珂市民会議)	%	526	531	500	500	500
(2) 投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,070	1,120	1,120	1,120	1,120
	事業費計(A)	千円	1,070	1,120	1,120	1,120	1,120
人件費計(B)	千円	659	444	444	444	444	
投入量(A)+(B)	千円	1,729	1,564	1,564	1,564	1,564	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	本市の青少年の健全育成を図るためには、各青少年育成団体を支援し、青少年育成活動について、親や市民に理解を広めることが必要となった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	子ども会の加入率は減少傾向にあるが、単位子ども会の再編により、子ども会存続および加入促進を目指す動きがある。市民会議事業は、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者からは、子ども会事業に参加し、よい経験をした等の意見が寄せられている。また、役員の負担軽減のため、今の時代に合った青少年育成支援のあり方を検討すべきとの意見がある。						

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	補助金を有効活用し、一層の活動活性化を図るため、那珂市子ども会育成連合会については、事業費について50千円増額した。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費) 50千円 (人件費) 0千円 <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 青少年市民会議及び子ども会育成連合会への補助は、青少年健全育成の推進につながるため、市関与は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 各青少年育成団体の活動を支援することで、引き続き青少年健全育成の推進を図る。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、青少年健全育成のためには、統廃合及び廃止・休止の可能性はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 青少年育成那珂市民会議や那珂市子ども会育成連合会の会員で事業を行っており、活動についてはボランティアである。また、市としては最低限の補助と支援を行っており、事業費及び人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない この事業については、各青少年育成団体に適正に補助金を交付する事業であり、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
事業を継続し各青少年育成団体の活動を支援することで、引き続き青少年健全育成の推進を図る。

改革・改善による期待成果

成果	コスト		
	削減	維持	増加
向上		○	
維持			×
低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 事業を継続し各青少年育成団体の活動を支援することで、引き続き青少年健全育成の推進を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	6 月	5 日
事務事業名	国民体育大会準備事業			事業類型	事業の推進			
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		国体推進室	記入者氏名	木内 修平			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業	
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える					
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援					
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 01	事業名 国民体育大会準備事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成28年度～令和元年度)		
事業概要								
【全体概要】 平成31年開催の第74回国民体育大会の成功に向け、おもてなしの心で本市ならではの特性と魅力ある大会の実現に努めるとともに、新たな活力とにぎわいを創出する大会を目指す。 令和元年度事業完了				【業務内容】 実行委員会開催(総会、常任委員会、総務企画・競技式典・輸送交通・宿泊衛生専門委員会) 先催都市の準備状況等調査・研究 関係機関及び競技団体との連絡調整 広報啓発活動の推進(マスコットキャラクターの活用、印刷物・メディア・イベントによる広報等) その他競技会の開催準備業務の推進				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
那珂市開催競技団体参加関係者、来訪者 市民	那珂市開催競技数	競技	2.	2.	0.	0.	0.	
	市民	人	55131.	54772.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
実行委員会に補助金を交付し、競技会運営の準備を進める。 各種イベントや広報等で国体をPRし、開催機運を高め、市民参加を促す。 馬術競技会場仮設施設を整備する。(全65カ所)	実行委員会等会議開催回数	回	11.	5.	0.	0.	0.	
	イメージキャラクター出演PR	回	45.	26.	0.	0.	0.	
	馬術競技会場整備に係る発注件数	件	1.	1.	0.	0.	0.	
				0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
滞りなく競技会を開催する。(馬術・3B体操) 市民総参加で選手等を歓迎することにより、魅力ある大会を実現する。	ボランティア数	人	256.	528.	0.	0.	0.	
	馬術競技会場整備率	%	0.	100.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	51,150	0	0	0	401,825
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	44,493	0	0	0	0
	一般財源	千円	451,241	0	0	0	0	156,062
	事業費計(A)	千円	451,241	95,643	0	0	0	557,887
	人件費計(B)	千円	44,600	8.00人	44,383	9.00人	0	0.00人
投入量(A)+(B)	千円	495,841		140,026		0		0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	第74回国民体育大会において、馬術競技と3B体操の開催地となった。那珂市をアピールする絶好の機会と捉え、市民総参加で大会の成功を目指すため事業を開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	予定どおり会場整備が完了した。多くの市民に認知され、馬術リハ大会や本大会の来場者は想定を超え、急ぎよ立見席を設けた。ボランティアは、平日活動できない方が多く、一部業者委託するなどして対応した。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	3B体操、馬術とも予定どおり開催することができ、馬術競技は来場者も例年以上となったため競技団体や県からお褒めの言葉をいただいた。							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 6月から馬術競技リハーサル大会や3B体操の競技会があるため、年度早々に実行委員会総会を開催し各事業に向けて準備を進めた。各競技団体、関係機関と連絡を密にし、国体開催前イベントや炬火採火集火イベント、馬術競技会も滞りなく実施することができた。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国民体育大会開催基準要項において、各競技会の会場地市町村も主催団体となっており、那珂市開催の各競技会の運営を行わなければならないため。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ボランティアは、団体等へも依頼し協力を求めた。平日に活動できる方が限られ、一部業務を業者へ委託したが、各係連携し滞りなく競技会を運営することができた。連日多くの来場者があり、盛大に馬術競技会を開催することができ、無事国体事業を終えることができた。
③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 日本スポーツ協会理事会において開催が決定されている事業であり、市に類似する事業はないため、廃止・休止はできない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 期限が決められている事業のため、期限内に完了するには事業費・人件費の削減余地はない。今年度滞りなく国体事業を終えることができ、次年度以降開催する県・市へ事業概要説明会を開催し、市実行委員会は目的達成のため解散した。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない スポーツの普及や那珂市の魅力を全国に発信する事業のため観覧料は徴収しない。正式競技参加選手は、各都道府県体協が日スポ協へ負担金を納入する。3B体操は、会員参加負担金と馬術競技リハ大会参加負担金は市実行委員会へ納入する。また、売店出店者には、出店料を徴収した。

3 計画の部(PLAN)																								
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 令和元年度で事業終了。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 令和元年度で事業終了。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	6月	4日
					点検日	年	月	日
事務事業名	スポーツ推進委員設置事業			事業類型	活動支援			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	岡部 航介			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				
	施策名			4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える				
	基本事業名			2 生涯スポーツ活動の支援				
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
		09	06	01	スポーツ推進委員設置事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 住民のスポーツ振興のため、実技の指導、組織の育成、行政機関及び団体の行う行事・事業に対し求めに応じて指導・助言を行う。				【業務内容】 各種スポーツ実技研修・ニュースポーツ教室の企画運営等				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	人口	人	55131.	54722.	54523.	52800.	52500.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
研修会(市・水戸地区・県)・研究会(関東・全国)への参加、軽スポーツ体験教室等の企画運営・体育行事運営協力、総合型地域スポーツクラブの運営支援。	研修会等開催回数	回	5.	6.	6.	6.	6.	
	委員会開催回数	回	6.	8.	8.	8.	8.	
	運営協力した体育行事数	回	2.	6.	5.	5.	5.	
				0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
推進員の指導技術・知識を育成し、スポーツ指導・普及にあたらせる。	市及び体協主催事業に参加した人数	人	1350.	1657.	1550.	1550.	1550.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,634	2,218	2,655	2,343	2,343	0
	事業費計(A)	千円	1,634	2,218	2,655	2,343	2,343	0
人件費計(B)	千円	1,764	2,960	2,960	2,960	2,960	0.34人	0.60人
投入量(A)+(B)	千円	3,398	5,178	5,615	5,303	5,303		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	国のスポーツ振興法(昭和36年)、現在のスポーツ基本法(平成23年)に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行うため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	スポーツの多種多様化が進み、指導者が不足してきている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	スポーツ推進委員がどのような活動をし、スポーツの発展や振興に寄与しているのかわからないという市民から声がある。一方、総合型地域スポーツクラブの運営については、中核として活動している。							

(4)前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) スポーツの多様化に対応するため、研修会等への積極的な参加を呼びかけ、資質の向上を図った。	(見直し内容に関する予算への反映) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減(事業費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(人件費)</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加(事業費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(人件費)</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円		(人件費)	0 千円	<input type="checkbox"/> 増加(事業費)	0	千円		(人件費)	0 千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
	<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円															
	(人件費)	0 千円																
<input type="checkbox"/> 増加(事業費)	0	千円																
	(人件費)	0 千円																
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																		

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではないか？●市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) スポーツ基本法に定められているため市が事業として行うのは妥当である。また、スポーツ離れによる運動不足の解消のためにも、スポーツ推進委員の地域に根差した活動は、広く市民に運動する機会を提供できるものであり、市が担うべきである。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ニュースポーツなどスポーツの多様化に伴い、指導者としての質をさらに高め成果の向上につなげるため、研修会等への積極的な参加を今後も促すようにする。
③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。また、スポーツ推進委員はスポーツ基本法の規定に基づき設置しているものであるため、休止・廃止の余地はない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は主に委員報酬・旅費・負担金なので削減余地はない。また、人件費についても、最小限の人員で行っている。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 各種研修会への参加は、参加負担金を徴収している。研修会に出席することによって指導力・資質の向上を図っているため公平である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) スポーツ推進委員の活動について市民への周知を図り、多様なスポーツが市民に普及するようにする。そのためにも様々なスポーツの研修を積み重ね、指導者としての資質・意識の向上を図っていく。	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) スポーツ推進委員の活動について市民への周知を図り、多様なスポーツが市民に普及するようにする。そのためにも様々なスポーツの研修を積み重ね、指導者としての資質・意識の向上を図っていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持																								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	6月	3日
					点検日	年	月	日
事務事業名	スポーツ教室開設事業			事業類型	各種教室の開催			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	岡部 航介			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				
	施策名			4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える				
	基本事業名			2 生涯スポーツ活動の支援				
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
		09	06	01	スポーツ教室開設事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 各種スポーツ教室の開催を通じて、子供から高齢者まで年齢性別を問わずスポーツに親しむ機会を提供し、楽しみながらスポーツを行うことで市民の健康増進に貢献する。				【業務内容】 スポーツ教室の企画、参加者募集、受付、教室開講事務、講師及び教室運営団体との契約等事務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	人口	人	55131.	54772.	54523.	52800.	52500.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
スケート教室・各種水泳教室・ヨガ教室・エアロビクス教室・3B体操・ジュニアテニス教室を実施	延べ開催数	回	1010.	974.	510.	998.	998.	
	教室数	教室	32.	33.	33.	33.	33.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、健康増進に貢献する。	延べ参加者数	人	22532.	21803.	11416.	28260.	28260.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	13,642	12,561	12,561	12,561	12,561	0
	一般財源	千円	3,308	4,001	1,268	1,750	1,750	0
	事業費計(A)	千円	16,950	16,562	13,829	14,311	14,311	0
人件費計(B)	千円	1,576	3,330	0.70人	3,330	0.70人	3,330	0.70人
投入量(A)+(B)	千円	18,526	19,892	17,159	17,641	17,641		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	スポーツ基本法に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行う。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	少子化及びテレビゲーム等の普及により、外で遊ぶ・スポーツをするという子供が減少してきている。その一方でニュースポーツ等のスポーツの多様化が進んでいる。高齢者は、健康志向としての参加が増加している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	継続して参加する方の中には教室のマンネリ化を指摘する方もいる。その一方で、水泳教室の一部では、定員を超える申込者があり抽選になってしまう教室もあり、定員や教室数を増やしてほしいという意見もある。							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み												
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>開催希望の多いピラティス教室を令和2年度より開催する。近年、参加者数が少なかったエアロビクス教室を開催しないため予算額の変化はない。</p>										
		(見直し内容に関する予算への反映) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>(人件費)</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>(人件費)</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0 千円	(人件費)	0 千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0 千円	(人件費)	0 千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0 千円											
(人件費)	0 千円											
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0 千円											
(人件費)	0 千円											
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし												

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <p>民間事業者が行っている教室もあるが、市のスポーツ振興施策として、スポーツをするきっかけづくりの教室を市が企画し、支援するのは妥当である。</p>
有効性評価 ② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ 	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <p>教室の参加状況やニーズを考慮し、新しい教室を実施する・教室の内容を変えるなどして、成果を上げる余地はある。</p>
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <p>市の事業に類似事業はない。スポーツをするきっかけづくり、健康推進の役割を果たしているため、現状、廃止・休止の可能性はない。</p>
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 <ul style="list-style-type: none"> ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <p>事業費は、指導者謝礼や教室委託料が大部分を占めているため削減は難しい。人件費についても最低限のスタッフで行っているため削減はできない。</p>
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない <p>各教室受講者から指導者謝礼相応の受講料を徴収しているため受益者負担は適正である。</p>

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <p>改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)</p> <p>引き続きアンケート等でニーズや要望を把握し、受講者数なども考え教室内容の改善を図っていく。</p>	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) <p>改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)</p> <p>引き続きアンケート等でニーズや要望を把握し、受講者数なども考え教室内容の改善を図っていく。</p>																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) <p> </p>																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) <p> </p>																						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	6月	3日
事務事業名	学校体育施設夜間開放事業				事業類型	施設の運営、維持管理		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	岡部 航介				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
		09	06	01	学校体育施設夜間開放事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 地域住民の身近なスポーツをする体育施設の拠点として、小中学校の体育施設を地域のスポーツ団体へ夜間開放する。					【業務内容】 小中学校・利用団体との調整・施設等の管理。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民、市内スポーツ団体		人口	人	55131.	54772.	54523.	52800.	52500.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
市内小中学校の体育館・武道場の夜間開放		学校体育施設の開放校	学校	16.	15.	14.	14.	14.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
地域の学校体育施設を夜間開放することにより、スポーツを通して地域住民の相互の親睦を図りながら体力作り、生涯スポーツを推進する。		利用団体数	団体	107.	105.	88.	88.	88.		
		団体構成人数	人	1968.	1854.	1669.	1669.	1669.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
				0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	527	669	848	808	808	0		
	事業費計(A)	千円	527	669	848	808	808	0		
人件費計(B)	千円	1,253	0.27人	185	0.05人	185	0.05人	185	0.05人	
投入量(A)+(B)	千円	1,780		854	1,033	993	993			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		昭和40年代の屋内運動場建設に伴い、地域住民のスポーツ・社会体育に対する関心や要求の高まりによるため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		夜間開放により学校体育施設を利用する団体が増加し、体育館の開放が飽和状態になりつつある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		利用団体からは、毎月の利用申請の改善・簡素化等の要望がある一方、学校側からは、利用団体のマナーの悪さが指摘されている。								

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>既存・新規団体ともに平等に利用機会が得られるような申し込み方法を検討中であるが、実施改善には至っていない。</p>	(見直し内容に関する予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 削減(事業費) </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> (人件費) </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> (人件費) </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 2px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加(事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 増加(事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市が所有・管理する施設であるので市が行うのは妥当である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 利用団体は依然として多く、新規団体の問い合わせも継続的にある。各施設の空きも少ないためこれ以上の団体受け入れによる成果の向上は期待できない。
公平性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業が無く、廃止・休止すると地域住民のスポーツ推進・親睦・健康の増進が図れない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費については、体育施設の照明、運動用具等の消耗品費のため、削減すると団体の活動に支障が出るため削減できない。 人件費についても、必要最低限の職員で行っているため削減できない。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 夜間開放事業における施設利用は無料であるため飽和状態となっており、機会均等の面で課題があるとともに、有料施設利用者との公平性という部分でも適正化の余地がある。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 40%;"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; justify-content: space-around; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 </div> </div> <div style="width: 50%; text-align: right;"> ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 既存団体で施設が埋まってしまい、新規利用が難しい状況にあるので、引き続き申し込み方法等を検討していく。 また、施設利用料(電気料等)については公平性の観点から、各施設の見直しとも併せて引き続き検討していく。 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">⊗</td> </tr> </tbody> </table> </div>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗	
			コスト																			
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 既存団体で施設が埋まってしまい、新規利用が難しい状況にあるので、引き続き申し込み方法等を検討していく。 また、施設利用料(電気料等)については公平性の観点から、各施設の見直しとも併せて今後検討していく。 </div>																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	6月	3日
					点検日	年	月	日
事務事業名	団体補助事業			事業類型	補助金			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	岡部 航介			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり			■ 実施計画対象事業		
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える					
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援					
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
		09	06	01	団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 市民の体力向上による健康増進を目的に、市内8地区のまちづくり委員会・加盟団体・専門部と連携して、各種大会及び関連事業を開催している市体育協会に財政的な支援を行う。					【業務内容】 各種大会、教室の受付・進行等の業務及び体育協会事務局の事務			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
那珂市体育協会加盟団体	加盟団体数(協会・連盟)	団体	18.	18.	18.	18.	18.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
市体育協会に補助金を交付する。 市体育協会事務を補助する。	補助金額	千円	6774.	6580.	7118.	7118.	7118.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民へ「誰でも・いつでも・どこでも」スポーツができる環境づくりをしてもらう。また、市民が暮らしのなかにスポーツを取り入れ、健康で楽しさにあふれた生活をおくることができる。	連盟登録人数	人	2469.	2361.	2361.	2361.	2361.	
	少年団登録人数	人	561.	521.	521.	521.	521.	
	大会等の開催回数(本部主催のみ)	回	19.	16.	19.	19.	19.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	6,774	6,580	7,118	7,118	7,118	0
	事業費計(A)	千円	6,774	6,580	7,118	7,118	7,118	0
人件費計(B)	千円	10,275	7,400	1,500	7,400	1,500	7,400	1,500
投入量(A)+(B)	千円	17,049	13,980	14,518	14,518	14,518		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	東京オリンピックを機会に体育協会設立の気運が高まり、体育協会の設立により、市民の健康増進が図られ、スポーツの振興とスポーツ団体の育成、各種競技団体の普及発展を目指して開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	体育協会加盟団体数は18団体で横ばいだが、登録人数については減少傾向にある。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設利用料の減免措置、補助金の増額、新規大会の開催等の要望が寄せられている。							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではないですか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市体育協会は、市のスポーツ振興の中心となって活動する団体であり、市民自らのスポーツ推進のため、行政の支援は必要である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 現状行っている大会等において、体育協会事務局と加盟団体が連携し、大会内容について改善を図っていき、事業としての魅力を増やすことにより、参加者の増加を見込むなどできる。また、要望を考慮して新規大会を考えるなど、成果の向上余地はある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。また、那珂市体育協会は市民の健康増進・スポーツ振興のために数多くの事業を展開しており、廃止することは市のスポーツ振興を阻害するとともに、市民の運動する機会を損失することになる。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は主に大会等の運営となり、事業費が削減されると参加者の参加費等の負担増につながる。それによって参加の敷居が高くなり、結果的にスポーツ推進・健康増進のマイナス要因となる。人件費については、体育協会の運営自立化を図ることで削減の余地がある。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなぜですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 各種大会、バスでの移動、宿泊を伴う事業等では、参加費を徴収して事業費に充てている点で公平である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 ■ 有効性の改善 ■ 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 ■ 有効性の改善 ■ 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 事務局と加盟団体が連携し、市民にとってより良い事業を行っていくために各団体のヒアリングを行い、運営状況等を指導している。 また、体育協会の自主運営化を図るため、専属事務員の雇入れ等について協議を行ったが、移行には至っていないので、引き続き協議を進める。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 ■ 継続 (■ 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 事務局と加盟団体が連携し、市民にとってより良い事業を行っていくために各団体のヒアリングを行い、運営状況等を指導している。 また、体育協会の自主運営化を図るため、専属事務員の雇入れ等について協議を行ったが、移行には至っていないので、引き続き協議を進める。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート				作成日	令和2年	5月	30日
事務事業名	体育施設管理事業					事業類型	施設の維持管理		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	小室 千春					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業	
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える							
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実							
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 03	事業名 体育施設管理事業	根拠法令	体育施設設置管理条例		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 瓜連体育館、ふれあいの杜公園(多目的広場・芝生広場・テニスコート)、神崎テニスコート、神崎グラウンド、中谷原公園(テニスコート)、戸多グラウンド、戸多体育館、本米崎体育館の維持管理事業。					【業務内容】 那珂総合公園以外の市内体育施設について維持管理する。 (ふれセンごだいの芝の管理も含む)				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
建物、グラウンド、機械	建物	棟	4.	5.	6.	6.	6.		
	グラウンド、機械	箇所、台	6.	6.	6.	6.	6.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
施設の維持管理(保守、点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)	除草作業	回	6.	6.	7.	7.	7.		
	保守点検	回	3.	3.	3.	3.	3.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
維持管理、緑化管理を適切に行うことで施設環境を整備することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことが出来る。	不具合発生	件	9.	9.	9.	9.	9.		
	修繕	件	9.	9.	9.	9.	9.		
	利用者	人	45958.	43939.	41000.	50000.	50000.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	1,776	1,846	38,926	1,738	1,738	0	
	一般財源	千円	6,915	8,230	13,152	10,271	10,271	0	
	事業費計(A)	千円	8,691	10,076	52,078	12,009	12,009	0	
人件費計(B)	千円	828	0.14人	2,325	0.50人	2,325	0.50人	2,325	0.50人
投入量(A)+(B)	千円	9,519	12,401	54,403	14,334	14,334			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ施設として那珂総合公園以外の市内体育施設が建設されたことから、施設の維持管理が始まった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新の意見要望がある。								

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)																
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="checked" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 瓜連体育館大規模改修、新たに管理する本米崎体育館の大規模改修について予算化した。使用料については、瓜連体育館大規模改修後に他の施設も併せて見直しを行う。																
	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table> (人件費 <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table> (人件費 <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table>) <input checked="checked" type="checkbox"/> 反映なし		0	千円														
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的・妥当性評価	有効性評価	効率性評価	公平性評価
① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？
■ 妥当である 市民がスポーツに親しみ健康に暮らせるように、市が主体となって運営事業を行うことは妥当である。	■ 余地がある (→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の老朽化のため、不具合箇所の実態を把握し、適切に修繕、改修を実施していくことで、利用者の安全性の向上を図り、利用者の増加を見込むことができる。瓜連体育館については、耐震補強工事に引き続き、大規模改修工事を実施する。	■ 事業費の削減余地がない ■ 人件費の削減余地がない 施設の不具合箇所の修繕については、最低限の範囲で行っており、これ以上の削減は難しい。また、人件費については、臨時職員、シルバー人材センターを活用して事業を実施しているので、これ以上の削減は不可能である。	■ 見直し余地がある (→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公共施設の維持管理は、公平な受益者負担が原則であり、使用料と減免規定の見直しを進める必要がある。瓜連体育館大規模改修後に他の施設も含めて見直し必要がある。
□ 見直す必要がある (→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)	■ 統廃合の余地がない ■ 廃止・休止の可能性がない この事業は、那珂総合公園以外の市内社会体育施設の維持管理を行うものであり、統廃合の余地はない。また、スポーツにおける住民ニーズに応えるため休止・廃止することができない。	□ 事業費の削減余地がある (→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □ 人件費の削減余地がある (→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)	□ 適正である □ 受益者負担を求める事業ではない

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="checked" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="checked" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="checked" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																				
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 備品や設備において、修繕や更新が必要なものが多くなってきている。利用状況等を適切に把握し、修繕や更新を行っていく。瓜連体育館の大規模改修、新たに管理することとなった本米崎体育館の大規模改造を実施する。使用料と減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から見直しを進めていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持																				
低下																				

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="checked" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="checked" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 備品や設備において、修繕や更新が必要なものが多くなってきている。利用状況等を適切に把握し、修繕や更新を行っていく。瓜連体育館の大規模改修、新たに管理することとなった本米崎体育館の大規模改造を実施する。使用料と減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から見直しを進めていく。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート				作成日	令和2 年	6 月	5 日
事務事業名	かわまちづくり支援制度活用事業				事業類型	工事			
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育G		記入者氏名	萩野谷 温			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	河川法		
		09	06	03	かわまちづくり支援制度活用事業				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成29年度～令和3年度)		
事業概要									
【全体概要】 那珂西大橋下流の那珂川河川敷有効活用に当たり、消防訓練等防災施設として、また屋外スポーツの場としてのグラウンドを兼ねた多目的広場及び駐車場を整備し、同時に環境学習の場としてワンド等の整備を行うことにより、地区及び市全体の活性化を図る場を設ける。 河川区域の整備となり、整備に当たり、地域等の活性化を目指し利用計画等を盛り込んだ「かわまちづくり計画」を国(常陸河川国道事務所)へ提出し、事業登録されることにより、基盤整正等の工事については国で実施し、表面整備を市が実施することで、市の負担を大幅に軽減できる制度となっている。 平成28年度に登録され、平成29-30年度から実施設計、令和元年度から工事を行い、令和4年度から供用開始となる予定である。					【業務内容】 平成28年度に設置した協議会で、整備及び運営について協議を行っていく。整備はグラウンドや消防訓練場を兼ねた多目的広場、環境教育の場のワンド、駐車場等で設計し、令和元年度で市施工工事を発注し、国と連携して市担当分の工事を行っていく。				

1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民及び戸多地区の市民			人口	人	53795.	53436.	53187.	52800.	0.		
			戸多地区人口	人	1651.	1609.	1572.	1500.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
令和4年4月からの供用開始に向け、関係者の意見を取りまとめ整備すべき内容を決定する。 整備に向け設計・工事等を行う。			ワークショップ開催数	回	1.	1.	1.	1.	0.		
			整備に係る委託・工事発注数	件	2.	1.	1.	1.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
地域の屋外スポーツの拠点となる場を整備し、提供することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができる。			市整備率	%	0.	40.	80.	100.	0.		
			国整備率	%	33.	100.	100.	100.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
(2) 投入量の推移											
	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費				
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	11,300	41,700	9,660	0	0	91,000		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	10,275	8,274	16,088	9,087	0	0	31,000		
	事業費計(A)	千円	10,275	19,574	57,788	18,747	0	0	122,000		
人件費計(B)	千円	720	0.10人	3,700	0.50人	3,700	0.50人	0	0.00人		
投入量(A)+(B)	千円	10,995	23,274	61,488	22,447	0	0	0	0		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		屋外スポーツ団体から、現状で練習や大会開催のための場所確保が困難となっていることから、グラウンドとして使える広場を作って欲しいと要望があり、河川敷での運用を検討し進めてきた。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		スポーツ団体のほかに、地元地区である戸多地区住民団体からもイベント等に使いたい要望がある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		屋外スポーツ団体から、多目的広場(芝貼り予定)でのスポーツ(練習や大会)ができるように要望されている。 整備後の管理について、過大な負担とならないよう考慮すべきとの意見がある。									

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか? また、取り組み後どのように変わりましたか? 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか?	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 日本サッカー協会からポット芝苗の提供を受けることで多目的広場の整備工事を大きく削減することができた。	(見直し内容に関する予算への反映) <input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費 34,000 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか? ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか? ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国・市・住民との協同事業であり、市施工及び竣工後の利用促進に関わる部分は市で実施する必要がある。
	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか? ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか? ●対象数が増加している場合、現状おりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか?	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 現在の体育施設の利用状況と、新たな体育施設の利用見込みとを勘案して、十分に利用頻度が高いと見込めるので効果が高いと考えられる。市民とともに考えて目的に資する有効な施設として整備する必要がある。供用開始後の管理についても十分検討しておく必要がある。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか? ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地域等の活性化を目指す那珂市河川敷の整備は「かわまちづくり計画」が国に事業登録されたことに伴うものであり、廃止・休止はできない。
	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか? ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか? ●事業目的にそぐわない支出はありませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費および人件費については、事業計画に基づく必要な整備内容で見込んでおり、現時点での必要最低限の経費の計上となっているため削減の余地は無い。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか? ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか?	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 地域の活性化を目指し、不特定多数の利用を想定した施設の整備となるため、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																			
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 経費削減に努めながら那珂市担当分の工事を発注するとともに、供用開始後の管理運営と利用促進について地元住民およびスポーツ団体と協議を行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上	○	×	維持	×	×	×	低下	×	×	×
成果	コスト																		
	削減		維持	増加															
	向上	○	×																
維持	×	×	×																
低下	×	×	×																
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																			
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 経費削減に努めながら那珂市担当分の工事を発注するとともに、供用開始後の管理運営と利用促進について地元住民およびスポーツ団体と協議を行う。																			
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																			
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																			

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート				作成日	令和2 年	5 月	30 日
事務事業名	総合公園管理事業				事業類型	施設の維持管理			
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育グループ		記入者氏名	小室 千春			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 04	事業名 総合公園管理事業	根拠法令	都市公園条例		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 那珂総合公園の維持管理事業					【業務内容】 那珂総合公園について維持管理する。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
建物、グラウンド		建物	棟	1.	1.	1.	1.	
		グラウンド	箇所	2.	2.	2.	2.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理(保守、点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)		保守点検	本	20.	21.	21.	23.	
		緑化管理	本	5.	5.	5.	5.	
				0.	0.	0.	0.	
				0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
維持管理、緑化管理を適切に行うことで施設環境を整備することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことが出来る。		故障	件	37.	33.	33.	33.	
		修繕	件	37.	33.	33.	33.	
		利用者	人	177306.	169421.	148000.	178000.	
				0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	10,500	9,864	10,484	8,600	8,600	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	11,975	10,508	15,870	11,000	11,000	0
	一般財源	千円	131,139	137,199	136,205	148,169	138,669	0
	事業費計(A)	千円	153,614	157,571	162,559	167,769	158,269	0
人件費計(B)	千円	4,140	4,650	4,650	4,650	4,650	1.00人	1.00人
投入量(A)+(B)	千円	157,754	162,221	167,209	172,419	162,919		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ		市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設されたことから、施設の維持管理が始まった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新の意見要望がある。						

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民がスポーツに親しみ健康に暮らせるように、市が主体となって維持管理事業を行うことは妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■ 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の老朽化のため、適切な修繕や対策を行うことで、事故を未然に防ぎ、より多くの市民に利用してもらえるような快適な施設環境の整備を引き続き行っていく。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものがありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市のスポーツ推進施設の拠点であり、他に代わる施設がないことから統廃合の余地はない。また、市民の健康づくりやスポーツの推進、スポーツにおける住民ニーズにこたえるためにも廃止・休止はできない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない ■ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない ■ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 空調設備の省エネ化を進めていくことで事業費を削減できる。指定管理者制度の導入により事業費・人件費の削減余地はある。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である ■ 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 公共施設の維持管理は、公平な受益者負担が原則であり、市の財源確保の観点からも減免規定の見直しを進める必要がある。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) ┌ <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 ├ <input type="checkbox"/> 公平性の改善 └ <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 空調設備の省エネ化を進めていく。指定管理者制度の導入には、施設の老朽化が課題のひとつとなっているので、大規模な改修を前提として、導入を検討していく。減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から見直しを進めていく。		改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持			×																			
	低下			×																			
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 空調設備の省エネ化を進めていく。指定管理者制度の導入には、施設の老朽化が課題のひとつとなっているので、大規模な改修を前提として、導入を検討していく。減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から見直しを進めていく。																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	30日
事務事業名	総合公園運営事業				事業類型	施設の運営		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	小室 千春				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	都市公園条例	
		09	06	04	総合公園運営事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 那珂総合公園の運営事業				【業務内容】 那珂総合公園の運営 (施設の予約、受付、使用料徴収、貸出等)				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
施設の利用者、市民、広域協定自治体の市民	那珂市の人口	人	55131.	54772.	54523.	52800.	52500.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
施設の利用者(個人・団体)に対し、予約、受付、使用料徴収、貸出等を行う。 貸出備品を適正に管理する。	電話・窓口による予約率	%	79.1	78.6	78.	78.	78.		
	パソコン等による予約率	%	20.9	21.4	22.	22.	22.		
	施設稼働率	%	82.7	74.3	68.	82.	82.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民が安全で快適にスポーツを楽しむことにより、生きがいをもち健康に暮らせるようになる。	施設利用者	人	177306.	169421.	148000.	178000.	178000.		
	うちプール利用者	人	41624.	37809.	34000.	41000.	41000.		
	日頃からスポーツに取り組んでいる人の割合	%	45.5	61.65	60.	60.	60.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2) 投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費		
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	7,525	7,582	2,902	2,122	2,269	0	
	事業費計(A)	千円	7,525	7,582	2,902	2,122	2,269	0	
人件費計(B)	千円	828	0.14人	2,325	0.50人	2,325	0.50人	2,325	0.50人
投入量(A)+(B)	千円	8,353	9,907	5,227	4,447	4,594			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設されたことから、施設の運営が始まった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近隣市町村に同様の施設が建設されている中、安定した利用者数で推移している。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、修繕や更新の意見要望がある。								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート				作成日	令和2 年	5 月	22 日				
事務事業名	図書館管理事業				事業類型	施設の維持管理							
担当部課G等	教育委員会 図書館		図書館管理G		記入者氏名	小田倉 知加							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業						
	施策名		3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える										
	基本事業名		1 生涯学習環境の充実										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	07	事業名	図書館管理事業	根拠法令	図書館法、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要													
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また情報の集積・発信基地としての図書館を市民が快適に利用できるように維持管理する。						【業務内容】 主な業務は施設の維持管理委託。 事業費は光熱水費、各種設備保守点検や修繕費、施設管理委託費等に支出。							

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
図書館	施設の延床面積	m ²	3609.69	3609.69	3609.69	3609.69	3609.69
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理	施設の修繕件数	件	9.	11.	14.	14.	14.
	施設管理の委託件数	件	4.	4.	4.	4.	4.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
図書館利用者が安全で快適に図書館の施設を利用できるように環境の整備をする。	施設に関する苦情件数	件	4.	4.	4.	4.	4.
	来館者数	人	259396.	240892.	250000.	255000.	260000.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	8,762	8,669	9,213	9,213	9,213
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	8,401	408	397	397	397
	一般財源	千円	9,210	11,399	10,539	14,759	68,095
	事業費計(A)	千円	26,373	20,476	20,149	24,369	77,705
人件費計(B)	千円	8,590	1.30人	4,810	1.30人	4,810	1.30人
投入量(A)+(B)	千円	34,963	25,286	24,959	29,179	82,515	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民からの強い要望と生涯学習の場として整備する必要があることから、平成18年那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例により図書館を設置。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	耐用年数による設備等の交換やオーバーホールなどがあり修繕件数は増加傾向にある。また、省電力化によりLED照明に移行する時期に来ている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	図書館利用者から、安全で快適な施設の維持管理が求められている。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	29 日
事務事業名	図書館運営事業			事業類型	施設の運営			
担当部課G等	教育委員会 図書館	図書館管理G	記入者氏名	寺門 征信				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える						
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 07	事業名 図書館運営事業	根拠法令	図書館法、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また、情報の集積・発信基地として、より多くの市民が利用できるように図書館を運営する。					【業務内容】 主な業務は、図書館資料の選定購入、図書館まつり等の企画、図書館システムの保守など。 事業費は、報酬、賃金、システム賃借料、資料の購入費等へ支出。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民	人口	人	53795.	53436.	53000.	52800.	52500.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
図書館システムの維持管理、図書館資料の選定・購入等を行い、閲覧・貸出をする	開館日数	日	289.	288.	288.	288.	289.
	購入資料数	点	7660.	6770.	6770.	6770.	6770.
	図書館資料数	点	209378.	217876.	224700.	231500.	238300.
	イベント主催数	回	10.	10.	11.	11.	12.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
多くの市民に自学自習の場を提供することにより、生涯学習への意識向上を図る。	登録者数	人	37756.	38981.	40000.	41000.	42000.
	貸出資料数	点	443054.	393356.	400000.	410000.	420000.
	一人当たりの貸出資料数	点	11.73	10.1	11.	11.5	12.
	来館者数	人	259396.	243890.	250000.	255000.	260000.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	24,022	24,330	9,866	9,866	9,866
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,679	1,000	51	50	50
	一般財源	千円	45,474	43,772	36,601	37,190	37,190
	事業費計(A)	千円	71,175	69,102	46,518	47,106	47,106
人件費計(B)	千円	14,260	13,160	13,160	13,160	13,160	2,20人
投入量(A)+(B)	千円	85,435	82,262	59,678	60,266	60,266	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	那珂市立図書館の開館に伴う事業						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	平成18年10月に開館、所蔵資料も増加し市民の生涯学習の拠点としてなくてはならない施設である						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の利用者を増加させる取り組みや学校との連携の要望が寄せられている(図書館協議会委員、学校司書) ・らぼーる図書室の資源を市立図書館に集中した方がより充実した図書館サービスになる(定期監査意見書) 						

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 図書資料の充実をめざし整備を継続した。イベントについては菅谷まちづくり委員会をはじめとして諸団体と積極的に開催した。来館者のおすすめ本のコーナーを新たに設置した。図書資料の予算(備品購入費:図書)を600千円削減した。図書館貸借更新に当たり減額交渉にあたったが削減には至らなかった。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の自主的な学習活動の場として設けられた施設であり、市民の要求に応じられる資料の充実・確保を図るとともに、公共性を重視した良質な情報提供・情報発信を行ううえで、市の関与は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館資料(書籍、CD、DVD)の所蔵数を増やしていくとともに、地域と連携した魅力あるイベント等を実施し、新規利用者を呼び込む余地がある。また、各種団体に団体貸出を推奨することによる図書館資料の活用の余地がある。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はないので、統廃合の余地はない。生涯学習の拠点となる施設であり、同様の施設がないため、廃止・休止の可能性もない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館システム貸借については、システム機器も性能が向上しており、現システムを継続し使用していくためには必要経費であることから事業費の削減余地はない。また、人件費についても、司書をはじめ現行の人数でシフトを組んで業務にあたっているが、人数としては最低限度の人数であり、これ以上人件費を削減する余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 図書館法第17条に基づき、図書館の利用において受益者負担を求めることはできない。例外として、相互貸借及び団体貸出に係る郵送料が発生した場合には、受益者負担の適正化の観点から、郵送料について受益者負担とした。(那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則を改正:平成29年4月1日施行)

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
			コスト																						
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持																								
	低下																								
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 引き続き図書館資料の所蔵数を増やし、利用者の学習意欲に応えられる環境づくりを行っていく。菅谷まちづくり委員会をはじめとして諸団体・ボランティアと連携したイベントを積極的に行い、利用者の拡大を図る。カードレスで資料が借りられる(手のひら静脈認証システム)メリットを積極的にアピールし、新規利用者を増やし、図書館資料の活用を図り成果の向上を目指す。																									

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 引き続き図書館資料の所蔵数を増やし、利用者の学習意欲に応えられる環境づくりを行っていく。菅谷まちづくり委員会をはじめとして諸団体・ボランティアと連携したイベントを積極的に行い、利用者の拡大を図る。カードレスで資料が借りられる(手のひら静脈認証システム)メリットを積極的にアピールし、新規利用者を増やし、図書館資料の活用を図り成果の向上を目指す。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	6月	5日			
事務事業名	公民館施設管理事業				事業類型	施設の運営、維持管理					
担当部課G等	教育委員会 中央公民館	公民館G	記入者氏名	後藤 泰成							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名	3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	公民館施設管理事業	根拠法令	社会教育法、那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 公民館施設及び設備の維持管理を行う。						【業務内容】 ・各種設備等に係る保守点検、清掃、修繕等、施設の維持管理委託業務。 ・燃料費、光熱水費の管理。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
中央公民館施設及び各種設備	施設数	件	1.	1.	1.	1.	1.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設維持管理業務、各種設備保守点検及び修繕を行う。	点検・検査・修繕の箇所数	件	25.	16.	20.	20.	20.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
中央公民館施設及び各種設備を適切な状態に保ち、市民に安心して利用してもらう。	点検・検査の実施率	%	100.	100.	100.	100.	100.
	利用者数	人	80852.	64858.	60000.	65000.	65000.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	1,629	1,593	1,937	1,600	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	130	137	145	140	140
	一般財源	千円	16,004	16,531	21,972	30,844	62,999
	事業費計(A)	千円	17,763	18,261	24,054	32,584	64,739
人件費計(B)	千円	5,785	5,945	5,945	5,945	5,945	
			1.45人	0.93人	0.93人	0.93人	
投入量(A)+(B)	千円	23,548	24,206	29,999	38,529	70,684	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民に生涯学習の場を提供することを目的として、昭和59年に中央公民館が開館した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設は経年劣化が進み、老朽化してきている。また、設備等も耐用年数を超えており、修理や修繕が欠かせない状態となっている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	利用者から集会ホールの照明が暗い、冷暖房が集中管理で部屋ごとの温度設定ができないため、「暑すぎる」「寒すぎる」等の意見がある。						

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み							
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>各種保守点検の現状を踏まえて、どのような方法での更新が妥当か、どの設備の更新を優先すべきか検討した。</p>	(見直し内容に関する予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> (人件費) 0 千円 </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> (人件費) 0 千円 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円	(人件費) 0 千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円	(人件費) 0 千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円							
(人件費) 0 千円							
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円							
(人件費) 0 千円							
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし							

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づき市が設置した公共施設である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ 	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要に応じて修理・修繕し、利用者が安心して使える施設管理をしてきた。しかし、開館して30年経過して計画的・大規模な修理・修繕によって施設の長寿命化を図る余地がある。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似の事業はなく、施設を運用している限りは、適切な管理をしていかなければならない。
効率的 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 <ul style="list-style-type: none"> ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限度の修理・修繕で対応している。職員も必要最小限度で管理している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めるとしては、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 規則の減免規定に基づき減免している。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 各種保守点検等をもとに、公民館機能の総合的な検討・精査をして、優先順序をつけて計画的に修繕を図る。	改革・改善による期待成果																					
	<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 各種保守点検等をもとに、公民館機能の総合的な検討・精査をして、優先順序をつけて計画的に修繕を図る。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	6月	5日			
事務事業名	学級講座開設事業				事業類型	各種教室の開催	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 中央公民館	公民館G	記入者氏名	後藤 泰成							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	2 生涯学習活動の支援									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	学級講座開設事業	根拠法令	社会教育法 那珂市公民館規則
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 生涯学習のきっかけづくりとしての初心者向け各種教室の開催と、教室生(卒業生の団体等も含む)の発表の場としての公民館まつりを開催している。なお、公民館まつりでは、短期教室や映画会の開催もあわせて行っている。年度末に、学級の記録誌を発行している。						【業務内容】 ・学級講座の開設 ・公民館まつりの開催 ・映画会の開催					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民(人口)及び市内在勤・在学者			対象者数	人	59000.	59000.	59000.	59000.	59000.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
公民館講座募集案内の各戸配布及びお知らせ版、市ホームページを活用し、受講生募集を行い、講座や公民館まつり、映画会を開催する。年度末に「ふれあい文集」を発行する。			講座数	講座	16.	18.	18.	18.	18.		
			全講座の開催回数	回	155.	175.	170.	170.	170.		
			公民館まつり体験教室数	教室	15.	9.	10.	10.	10.		
			映画会開催数	回	1.	1.	1.	1.	1.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
生涯学習へ取り組む意欲を向上させるとともに成果の活用を図る。			受講完了者(7割以上出席者)の割合	%	82.	90.2	90.	90.	90.		
			定員を超えた講座数	講座	7.	8.	8.	8.	0.		
			講座受講者数	人	310.	347.	350.	350.	350.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移					単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	897	979	1,319	1,050	1,050	0	0		
	一般財源	千円	575	542	691	959	959	0	0		
	事業費計(A)	千円	1,472	1,521	2,010	2,009	2,009	0	0		
人件費計(B)		千円	3,180	0.60人	4,617	0.67人	4,617	0.67人	4,617	0.67人	
投入量(A)+(B)		千円	4,652	6,138	6,627	6,626	6,626	6,626			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			社会教育法に基づく公民館が行う事業として、講座を開設した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			近年、民間による趣味、知識や技術習得のための事業が多く行われるようになり、市民の選択肢が増えてきている。また、教室の内容等も多様化が求められている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			講座数の増や開催日等の調整。また、カリキュラム内容によっては、募集定員の増という要望の声も寄せられている。								

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 新規講座を3講座開設するとともに、内容についても市民の間に幅広く関心興味を持たれているものを企画した。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民に生涯学習の機会と場を提供し、絆作りと活力あるコミュニティの形成を図るための事業であり、市の関与は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) より多くの市民が受講希望する講座を企画立案し、自主教室への移行を支援する余地がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づく公民館事業として講座を開設している。生涯学習のきっかけづくりとして実施している。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の事業費と人件費で行っている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 講師料は受講料で賄っている。教材費等は別途受講生の負担であり、託児代も一部負担しているので、適正であると考えます。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 常に市民ニーズを把握し、その要望を公民館講座の企画に反映させる。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 常に市民ニーズを把握し、その要望を公民館講座の企画に反映させる。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート				作成日	令和2年	6月	2日	
					点検日					
事務事業名	歴史民俗資料館運営事業				事業類型	施設の運営				
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G		記入者氏名	鈴木 正寿				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業			
	施策名		5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る							
	基本事業名		1 歴史資産の保護・保存と活用							
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例			
		09	05	04	歴史民俗資料館運営事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要										
【全体概要】 ・歴史民俗資料館施設機能の運営及び維持管理・文化財及び市に関する歴史資料を収集・保管及び展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等資産を様々な角度から体系的に紹介する。					【業務内容】 ・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
全市民	市民	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.
	文化財史資料	点	1632.	1640.	1650.	1660.	1670.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市内文化財資料史の収集・展示公開 展示室機器等の修繕	開館日数	日	304.	282.	262.	304.	304.
	常設展の資料点数	件	170.	170.	170.	170.	170.
	年間資料収集数	件	68.	70.	70.	70.	70.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民に市の歴史、文化資産を知ってもらう。	入館者数	人	14373.	12010.	12100.	14500.	15000.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	500	570	0	0	0
	一般財源	千円	7,511	6,693	3,995	2,196	2,196
	事業費計(A)	千円	8,011	7,263	3,995	2,196	2,196
	人件費計(B)	千円	2,760	2,790	2,790	0	0
		0.45人	0.46人	0.46人	0.00人	0.00人	
投入量(A)+(B)	千円	10,771	10,053	6,785	2,196	2,196	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	開館以来入館者は、ピーク時の平成27年度1万6千人台より年々減少傾向にある。本年度はコロナウイルスの影響もあり1万2千人台へと減少した。今後は入館者の増加に繋げられるように資料を収集・管理していく。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。展示における市民参加の必要性等の声がある。資料館までの標識、案内板等の設置及び公共交通機関の整備の要望がある。						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	30日
事務事業名	特別展開催事業				事業類型	活動支援		
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	中嶋 圭子				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり			■ 実施計画 対象事業			
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る						
	基本事業名	2 伝統文化の継承と活用						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 04	事業名 特別展開催事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 ・歴史民俗資料館多目的ホールにおいて、特別企画展、収蔵品展等を開催する。・来館者数の増大を図り、先人が残した文化遺産に対する見聞を広め、文化財保護の意識を高める。					【業務内容】 ・テーマに沿った資料展示を行う。・展示期間中に展示講演会、または展示解説会を開催する。・歴史講演会を開催する。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	那珂市の人口	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
特別展を企画し開催する。 <令和元年度実績> ・特別企画展「那珂市埋蔵文化財出土品展」・特別企画展「那珂市城館跡調査成果発表展」 ・季節展「端午の節句展」・「正月飾り展」・「雛人形展」	企画展等催し物開催回数	回	5.	5.	5.	5.	5.	
	講演会実施回数	回	5.	3.	3.	3.	3.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民が文化財に接する機会を増やすことにより、文化財に対する関心や興味を高め、文化財保護意識の高揚を図る。	入館者数	人	14373.	12010.	12100.	14500.	15000.	
	文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	41.92	42.8	45.	50.	55.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	937	3,011	821	3,855	835	0
	事業費計(A)	千円	937	3,011	821	3,855	835	0
人件費計(B)	千円	3,693	0.67人	4,272	0.69人	4,272	0.69人	
投入量(A)+(B)	千円	4,630	7,283	5,093	8,127	5,107		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	資料館施設及び収蔵資料を有効活用し、市民の歴史文化への関心を高めることを目的として開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・特別企画展が広く市民に浸透し、年間入館者数が15,000人前後となっている。 ・年に2度以上来館するリピーターや、次回開催企画展案内の希望者が増えている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・来館者アンケートにより、継続的に企画展開催を希望する意見が多く寄せられている。・市中心部より離れているため、交通の便の悪さを指摘する声が多く寄せられている。							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 2,756 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 市民の歴史文化への関心を高めることは、市の文化レベルの向上につながる。『豊かな心と文化を育む教育のまちづくり』を掲げる那珂市にとって、企画展をとおして文化財を周知し、次世代へ継承することは義務である。文化財は、大切な財産であり、公共の立場でそれを守り伝えることが妥当であると考えます。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ 今後も市民や来館者の要望に応え、ニーズに合った展示を行い来館者の増加を見込むことができる。環境の整備(展示ケースの充実など)も計画的に行い、より内容の濃い展示を目指す。
	③ 類似事業との統廃合余地 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性はある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？ 歴史資料を扱うという、特異な性質上、類似事業は考えられない。また、企画展が生涯学習や学校教育において学習支援活動にもなっているため、欠かすことのできない事業である。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 事業費はこれまでも最低限の予算で行っており、これ以上の予算削減は企画展の存続が困難となる。人件費に関しては、最低限の職員で事業にあっている。また、資・史料を扱うため、経験と知識が必要となる。そのため、アウトソーシングでの事業遂行は困難である。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 空調設備や展示用固定ケース等の設備の不足により、展示できる資料に限りがあり、入場料を徴収できる内容の展示には達していないため。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																			
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果																			
段階的にケースなどの展示什器の充実を図り、展示環境の改善を図る。また、既存の展示用備品の見直しをするとともに、展示内容を工夫し来館者の増加につなげる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>⊗</td> <td>⊗</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上			○	維持			⊗	低下		⊗	⊗
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上			○																	
維持			⊗																	
低下		⊗	⊗																	

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 段階的にケースなどの展示什器の充実を図り、展示環境の改善を図る。また、既存の展示用備品の見直しをするとともに、展示内容を工夫し来館者の増加につなげる。
--	---

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)
---	---

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)
--	---

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	6 月	2 日			
事務事業名	文化財保護対策事業				事業類型	調査	点検日				
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	文化財保護対策事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】						【業務内容】					
・国民共有の財産である文化財に対して、重要性の啓発、保護意識の高揚及び愛護思想の普及啓発を図るとともに文化財の指定等について協議推進する。 ・文化財保護審議会は文化財の保存活用について、調査審査し教育委員会に建議する。						・文化財保護審議会開催・資史料等の整理・復元・保存及び調査研究・照会等による埋蔵文化財の保護指導・試掘調査・埋蔵文化財の発掘調査・記録					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
文化財、民俗資料 市民	保護すべき文化財、資史料数	点	1632.	1640.	1650.	1660.	1670.		
	那珂市の人口	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
文化財保護審議会開催 文化財資料等の調査研究	文化財保護審査会の開催日数	回	2.	2.	2.	2.	2.		
	発掘・試掘調査件数	件	6.	6.	7.	7.	7.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
文化財としての資史料を発掘するとともに、保護保存を図り次世代へ継承する。	文化財指定数	件	84.	86.	87.	88.	90.		
	指定文化財を知っている人の割合	%	64.3	64.4	68.	70.	72.		
	文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	41.92	42.8	45.	50.	55.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2) 投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	860	1,744	3,213	3,211	3,211	0	
	事業費計(A)	千円	860	1,744	3,213	3,211	3,211	0	
人件費計(B)	千円	1,549	0.37人	2,813	0.39人	2,813	0.39人	2,813	0.39人
投入量(A)+(B)	千円	2,409	4,557	6,026	6,024	6,024			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	市文化財保護条例に基づき、市内に存在する文化的価値が高い文化財について、保存・活用に関する重要事項を計画的に調査審議し保存するため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	事業の推進により、指定文化財数の増加や史跡をはじめ文化財の保護活用についての関心が高まっている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	身近にある文化財への関心が高まった。埋蔵文化財の保護について、理解を深めるようにPRが必要ではないか。文化財保護行政にもっとも力を入れるべきではないか。								

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的・妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内の貴重な埋蔵文化財の保護は、公共が行う義務的業務である。 先人の残した文化遺産は国家国民の貴重な財産であり、これを保護することは行政の責務でもある。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 関係課の開発情報等を共有することにより、常に把握出来ている。 県文化課指導により「埋蔵文化財専門員」を平成24年度から配置しており、迅速・的確な保護活用が図られている。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。 休止・廃止は、貴重な財産である文化遺産、文化財を喪失する恐れがあるとともに、指定文化財の維持管理に支障をきたす。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化財の保護及び普及啓発費用であり、最低限の予算計上となっている。 文化財の内容にもよるが、保護には特殊技術を要することが多く、経費が高額となる傾向にある。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 文化遺産・文化財は、市のものであり市民のものであるため、特定の受益者はいない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 貴重な文化財を喪失させないよう、現状維持に努める。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 貴重な文化財を喪失させないよう、現状維持に努める。
--

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	6 月	2 日
事務事業名	額田城跡整備事業			事業類型	維持管理			
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る						
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 05	事業名 額田城跡整備事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 額田城跡指定範囲(文化財)を後世に伝えるための整備、管理及び保存をすることにより地域の活性化に活用していくために、年次計画に基づき地域の管理組合に委託する。額田城跡の現状維持、保存に努める。					【業務内容】 額田城跡保存管理計画(第2期)に基づく整備・管理(平成29年度から令和3年度) 額田城跡整備・管理委託 ①遊歩道・進入路整備、看板整備等 ②草払・倒木処理・間伐等			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
額田城跡、市民、市外来訪者	市民	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.		
	額田城跡計画面積	ha	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
額田城跡整備工事	保存会の年間整備活動日数	回	40.	40.	40.	40.	40.		
額田城跡保存会に関する管理委託	整備工事発注件数	件	1.	1.	1.	1.	1.		
草払・倒木処理・間伐等			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。	整備活動人数	人	1050.	1050.	1050.	1050.	1050.		
	文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	41.92	42.8	45.	50.	55.		
	用地取得率		0.	0.	80.	100.	100.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費		
事業内 財源 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	5,996	1,491	1,298	5,925	1,424	0	
	事業費計(A)	千円	5,996	1,491	1,298	5,925	1,424	0	
人件費計(B)	千円	2,336	0.32人	2,867	0.39人	3,867	0.39人	2,867	0.39人
投入量(A)+(B)	千円	8,332	4,358	5,165	8,792	4,291			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。								

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 地元の保存会や地域と市が協働により保存管理を実施している。 一部地権者の同意が得られず難航しているが、公有化に向け交渉を進めている。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円										
0	千円										
0	千円										
0	千円										

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 貴重な文化遺産である額田城跡の整備・維持管理は公共性が高い。また、史跡面積が7.7haあることから、市民団体や地域だけでは負担が重過ぎるため、市の支援が必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 額田城跡を歴史的な自然公園として、保存・整備することにより、歴史的資産や文化財に親しむことは、重要であるとする市民を増やすことができる。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。 貴重な文化財保護のため、また、保存のために尽力している地域住民のためにも廃止すべきではない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業にかかる経費は最低限で実施しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 受益者負担を求める事業ではない 指定区域内の土地は、地権者の協力により一部無償借地している。また、維持作業も多くのボランティアで成り立っている。そのような現状から、来訪者から負担金をとるような城跡ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 用地の公有化を進め、額田城跡保存管理計画(第2期)に基づき整備を進める。
 今後、整備実施により、事業費が増加する見込みである。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 用地の公有化を進め、額田城跡保存管理計画(第2期)に基づき整備を進める。
 今後、整備実施により、事業費が増加する見込みである。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	6月	2日	
					点検日	年	月	日	
事務事業名	市史編さん事務費			事業類型	事業の推進				
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					
	施策名			5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る					
	基本事業名			1 歴史資産の保護・保存と活用					
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市市史編さん委員会及び専門委員設置規則		
		09	05	06	市史編さん事務費				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 歴史的にも風化・散逸していく資料について、収集・調査をすることになり、本市の発展過程を歴史的に明らかにし、市民の郷土愛を高揚する。また、市の将来の発展に資することを目的に、那珂市史編さん委員会及び専門委員会を置く。					【業務内容】 貴重な遺跡等の文化財や、先人たちを広く市民に公開する。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・全市民・市外訪問者(観光客)・郷土史研究者等・長い歴史の中で生まれ、伝えられた史・資料		那珂市の人口	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.
		考古及び史・資料	点	6000.	6200.	6400.	6600.	6800.
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市史編さん委員会を開催し、考古資料の解説や調査をしていく。		市史編さん委員会開催回数	回	3.	3.	3.	3.	3.
				0.	0.	0.	0.	0.
				0.	0.	0.	0.	0.
				0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民に歴史的事実を明らかにし、歴史的記録を後世に記録し残す。		調査・解説できた考古・史・資料数	点	3500.	3500.	3500.	3500.	3500.
		市史等頒布数	冊	362.	220.	220.	220.	220.
		文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	41.92	42.8	45.	50.	55.
				0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	186	305	200	200	200	0
	一般財源	千円	901	273	870	3,254	1,070	0
	事業費計(A)	千円	1,087	578	1,070	3,454	1,270	0
人件費計(B)	千円	627	0.09人	586	0.09人	586	0.09人	
投入量(A)+(B)	千円	1,714	1,164	1,656	4,040	1,856		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ		那珂市内に存在する歴史的・文化的遺産を発掘し、先人の業績を学び発展に寄与するとともに、それらを後世に伝承するため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		多くの市民の理解を得て、文化財保存への関心が高まっている。また、編さん事業の成果に基づいた生涯学習講座等においても希望者は増加している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・あまり目立たないが、時間のかかる貴重な事業であるため、粘り強く取り組んで欲しい。・事業の内容をさらによりわかるようにPRして欲しい。・那珂市の歴史をもっと簡単にまとめたものも欲しい。						

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 ■ 見直し □ 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 刊行は無かったが、今後も市民の興味を高められる内容等を検討していく。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である □ 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 過去から積み上げられてきた郷土の歴史を明らかにし、記録保存することは、過去から未来に向けての指針とすべきものであり、公共機関の役割である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	□ 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史資料を整理・保存し、市民が関心を持つような内容、場所(場)を提供することで、市民の興味を高められる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない □ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない □ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。 過去の史資料を解説して明らかにする作業は、膨大な時間を要すが、廃止すると消失しかねず、廃止休止するべきではない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない □ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない □ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 人的作業であり多くの時間を必要とするため、省力化は不可能である。 また、編さんに係る経費は、委員報酬が大部分であり、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	□ 適正である ■ 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □ 受益者負担を求める事業ではない 発行に係る経費は、希望者への頒布により応分の受益者負担とすべきだが、安価な価格設定とし、不足分を市が負担するなどして、購買意欲を高め、市の歴史・文化などをより市民に関心を持ってもらう。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載	□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 ■ 継続 → ■ 見直し(改革・改善) → { □ 目的の再設定 □ 有効性の改善 □ 効率性の改善 ■ 公平性の改善 } □ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 市民が関心を持つ内容、わかりやすい内容のものを刊行し、ホームページや広報による周知を行い、より興味を持ってもらえるように努める。関心のある市民に購入してもらえるように、頒布価格の設定を検討する。	改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載	□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 ■ 継続 (■ 見直し □ 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 市民が関心を持つ内容、わかりやすい内容のものを刊行し、ホームページや広報による周知を行い、より興味を持ってもらえるように努める。関心のある市民に購入してもらえるように、頒布価格の設定を検討する。
--	---

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 □ 継続 (□ 見直し □ 現状維持)
---	--

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	□ 終了 □ 廃止 □ 休止 □ 統廃合 □ 継続 (□ 見直し □ 現状維持)
--	--